

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
カタログ同封
サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**
また、カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。



お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名, 担当者, 連絡先 (住所、Tel、Fax、E-mail) ◆封入希望号
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください (PDF、Fax可)。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日) です。日付指定にて必要枚数 (20,000 枚) を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
約17.5円!
基本価格 350,000円
(税抜)

対象：全会員 20,000通 配布
(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や
共催事業は
さらに割引も!

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
(基本価格の40% Off!) **210,000円**
(税抜)

情報処理学会主催・共催事業*
(基本価格の80% Off!) **70,000円**
(税抜)

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4変形判またはA4判二つ折り (その他についてはご相談ください)
用紙：色上質厚口 (四六判 80g) またはコート紙 (四六判 90g) 相当

☎ 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

名誉会員の紹介

第642回（2020年1月）の議を経て、下記の方が2020年度定時総会（2020年6月3日）において名誉会員に推挙されました。
（記載は会員番号順）



西尾 章治郎 君

にしお しょうじろう

1975年3月	京都大学工学部卒業
1980年3月	京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了（工学博士）
1980年4月	京都大学工学部 助手
1980年6月～1981年5月	カナダ・ウォータールー大学 客員研究助教授
1988年10月	大阪大学基礎工学部 助教授
1989年10月	大阪大学情報処理教育センター 助教授
1992年8月	大阪大学工学部 教授
2000年4月～2003年8月	大阪大学サイバーメディアセンター長
2001年4月～2008年3月	文部科学省 科学官（研究振興局）
2002年4月	大阪大学大学院情報科学研究科 教授
2003年8月～2007年8月	大阪大学大学院情報科学研究科長
2007年8月～2011年8月	大阪大学 理事・副学長
2015年8月～現在	大阪大学 総長

本会関係略歴

- (1) 1983年入会
- (2) 理事（1998年度～1999年度）
- (3) 副会長（2012年度～2013年度）
- (4) 会長（2017年度～2018年度）
- (5) 2001年度フェロー
- (6) 2007年度、2008年度、2010年度論文賞
- (7) 2010年度功績賞

受賞

2011年	紫綬褒章受章
2016年	文化功労者



土井 美和子 君
どい みわこ

1979年	東京芝浦電気(株)(現(株)東芝)入社
2005年	第20期日本学術会議 会員
2008年	(株)東芝 研究開発センター 首席技監(2014年退社)
2011年	第22期, 23期日本学術会議 会員
2013年	大阪大学 招へい教授
2014年	情報通信研究機構 監事
2014年	東京農工大学 客員教授
2014年	(株)国際電気通信基礎技術研究所 客員研究員(2016年退社)
2015年	(株)野村総合研究所 取締役
2016年	奈良先端科学技術大学院大学 理事
2019年	(株)三越伊勢丹ホールディングス 取締役
現在	東北大学 理事

本会関係略歴

- (1) 1984年入会
- (2) 理事(2004年度～2005年度)
- (3) 副会長(2007年度～2008年度)
- (4) 2001年度 Best Author 賞
- (5) 2008年度学会活動貢献賞
- (6) 2008年度フェロー
- (7) 2009年度功績賞



Z i d e D U 君

Education

1982

B.S., Beijing Univ. for Sci & Technology, on Computer Science

1984

M.S., Inst. of Computing Tech, Chinese Academy of Sciences (CAS),
Computer Architecture

Work Experience

1984 ~ 1988

Inst. of Computing Tech., CAS, Beijing, Assistant research professor,
On Computer Aided Design on Architecture

1988 ~ 1989

Twente University, the Netherlands, Visiting Scholar

1989 ~ 1996

Inst. of Computing Technology, CAS, Associate Research Professor

2005 ~ 2008

President of Intel Olympiad in Informatics

2009 ~ 2015

Secretary General of ICT Committee of World Federation of
Engineering Organizations

1996 ~ 2004

Deputy Secretary General of China Computer Federation (CCF)

2004 ~ Present

Secretary General of CCF

Awards

2010

Distinguished Service Award by Intl. Olympiad in Informatics

2019年度功績賞

功績賞は、情報処理に関する学術または関連事業に対し特別の功労があり、その功績が顕著な会員に贈呈されます。

本年度の受賞者は関連規程に基づき、第643回理事会（2020年3月）の議を経て、下記の3君に決定され2020年度定時総会*（2020年6月3日）において、表彰報告されました。（記載は会員番号順）

*新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式は中止となったため、賞状および賞牌の発送をもって表彰といたしました。



富田悦次君

とみた えつじ

本会正会員富田悦次君（フェロー）は、永年にわたりオートマトン・言語理論、学習理論、組合せ最適化などの分野において研究と教育に携わり、先駆的で優れた業績を挙げられました。

まず同君は、決定性文脈自由言語の等価性判定問題に対し、統一的でまったく新たなアルゴリズムを考案され、合わせて、国際的にも早い段階から計算論的学習理論の新方式を提唱されました。教科書『オートマトン・言語理論』（森北出版）は初版から改訂第二版にわたって計30増刷を重ね、当分野の教育に多大の寄与をされました。また組合せ最適化問題の中では、人と人のつながりに代表されるような大規模なネットワークデータの解析において本質的な役割を果たす、クリークと呼ばれるグラフ構造に非常に早い段階から注目し、クリーク抽出に関する研究を永年にわたり先導してきました。中でも、極大クリーク全列挙のために考案した最適アルゴリズムは、アルゴリズム分野にとどまらず、幅広い分野から活用、引用され、世界的に高く評価されています。最大クリーク抽出問題についてもいくつかの高速アルゴリズムを次々

と開発し、それらは多くの引用をされ、同問題の近年発展の国際的中心の一つとなっています。これらのアルゴリズムは、共同研究として多くの応用にも巧みに活かされています。

以上に関連したいくつかの国際会議では、実行委員長、プログラム委員長、大会委員長、招待基調講演などを務められています。上記の卓越した研究業績に対しては、船井情報科学振興賞（2003年）、電子情報通信学会フェロー（2003年）、および本会フェロー（2003年度）、などを授与されています。また極大クリーク全列挙論文は、理論計算機科学の著名論文誌である Theoretical Computer Science から2005～2010年最多被引用論文賞（2010年）を受賞し、重ねて同誌の創刊40周年に際しては、出版年（2006年）論文での最多被引用論文表彰（2015年）も受けています。なお、同論文のGoogle Scholar上引用文献数は700件超であり、出版後10数年でのこの値は理論計算機科学分野においては非常に高く、さらに現在も増加を続けています。

本会においては、会誌編集委員会主査（基礎・理論分野、1982年度～1983年度）、数理モデル化と問題解決研究会主査（1999年度～2000年度）、コンピュータサイエンス領域委員会委員長（2003年度～2005年度）、理事（教育／調査研究担当、2005年度～2006年度）などを歴任され、特に若手研究者の育成、情報教育の充実に努められました。

以上のように、同君が、国内外の情報科学分野、ならびに本会の活動の発展に尽くした功績は、まことに顕著であります。



松本裕治君

まつもと ゆうじ

本会正会員松本裕治君（フェロー）は、永年にわたり、自然言語処理の研究に携わり、当該分野を国際的に牽引してこられました。

自然言語処理において、形態素／統語解析、語彙知識獲得、機械学習に基づく言語処理など一貫して基盤技術に関する研究を推進し、計算言語学・自然言語処理分野を代表する研究者の1人として数多くの先駆的な業績を挙げるとともに、多数の優秀な人材の育成に貢献されています。また、基礎研究にとどまらず、種々の言語解析システムを開発し、共有可能なツールとして公開してきました。特に、形態素解析システム「茶釜」は、多くの研究開発環境で利用されており、日本語形態素解析の定番といえます。同君の自然言語処理システムの研究開発と共有化に関する努力は、我が国における自然言語処理研究、ひいては多くの関連分野に貢献されました。

経歴としては1979年に京都大学を修士で修了し、電子技術総合研究所（現、産業技術総合研究所）に入所した後、1984年には英国インペリアルカレッジ計算学科の客員研究員として論理プログラミングの研究を進め、1985年には（財）新世代コンピュータ技術開発機構の研究室長代理、1988年からは京都大学の助教授、1993年からは奈良先端科学技術大学院大学の教授として着任され、さまざまな研究を進められました。

これらの卓越した研究業績は、ASTEM ソフトウェア文化賞、日本 OSS 貢献者賞、本会フェロー、ACL Fellow や本会を含む複数の学会での論文賞などを受けており、国内外で高く評価されています。また、言語資源協会理事、本会自然言語処理研究会主査（1998 年度～2001 年度）、本会理事（2004 年度～2005 年度）、フェロー（2005 年度）等の要職を歴任され、計算言語学・自然言語処理分野における国際的なリーダーとして当該分野を牽引されました。

以上のように、同君が、国内外の情報処理分野の発展と教育・研究、ならびに本会の活動の発展に尽くされた功績は、まことに顕著であります



笠原 博徳 君
かさらは ひろのり

本会正会員笠原博徳君（フェロー）は、永年にわたり並列処理技術、マルチプロセッサ・スケジューリング、自動並列化コンパイラ、マルチコアアーキテクチャの研究に従事され、多くの優れた業績を挙げられました。特に、同君が、本会での議論をベースとして、世界で初めて開発に成功したマルチグレイン並列化、プログラム全域にわたるキャッシュメモリ最適化、コンパイラによる消費電力削減等の技術は、論文誌および国際会議での論文に加え、50 件以上の国際登録特許としても発表されており、上記分野の技術発展に大きく貢献されました。

また、同君は、本会計算機アーキテクチャ研究会主査、会誌および論文誌編集委員会主査等の経験に基づき、IEEE Computer Society President, Executive Committee, Board of Governors, IEEE Technical Activity Board, 文部科学省情報科学技術委員会、NSF プロジェクト評価委員会等の委員、経済産業省／NEDO アドバンスド並列化コンパイラ・情報家電用マルチコア・グリーンコンピューティング等のプロジェクトリーダー、産業競争力懇談会理事等

を歴任し、研究・人材育成・産学連携の発展に大きく寄与されました。

同君の業績は、国内外で高く評価され、本会坂井記念特別賞、IEEE CS Golden Core Member Award・Spirit of Computer Society Award、文部科学大臣表彰科学技術賞、IEEE Fellow 等を受賞されておられます。さらに、IEEE CS President として、IPJS-IEEE CS Young Researcher Award を発足させるなど、本会の国際的プレゼンス向上にも大きな貢献をされています。

以上のように、同君が世界の情報処理分野の発展への寄与を通し、本会の活動の発展に尽くされた功績はまことに顕著であります。

各賞表彰等(概要)

詳細は Web サイト (https://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html) をご覧ください

2019 年度論文賞の表彰

本賞の選考は、表彰規程および論文賞受賞候補者選定手続きに基づき、論文賞委員会(委員長 湊真一)が、対象論文 563 編* につき慎重に審議を行いました。その結果、下記の 6 編が受賞候補論文として選定され、理事会承認(2020 年 3 月 26 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て決定されました。

受賞者は、本会表彰規程により、6 月 3 日に開催された 2020 年度定時総会** において表彰報告されました。

* 選考を行ったのは「論文誌ジャーナル」「Journal of Information Processing」「論文誌コンシューマ・デバイス&システム」「論文誌デジタルコンテンツ」「Transactions on Computer Vision and Applications」の 5 誌です。以下 7 誌については対象論文がそれぞれ 50 編に満たないため、論文賞選定は翌年以降に持ち越すこととしました。

「論文誌プログラミング」「論文誌数理モデル化と応用」「論文誌データベース」「論文誌コンピューティングシステム」「論文誌教育とコンピュータ」「Transactions on Bioinformatics」「Transactions on System LSI Design Methodology」

** 新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式が中止となったため、表彰状などの発送をもって表彰といたしました。

【情報処理学会論文賞】

○「PR-SCTP を用いた分割ダウンロード方式における所要時間とブロック到達順序を考慮した要求方式」

[情報処理学会論文誌 Vol.60, No.2, pp.469-478 (2019)]

武田 和也 君 舟阪 淳一 君 (正会員)

○「ジャミング転移による硬さおよび形状の提示が可能な食感提示システムの提案」

[情報処理学会論文誌 Vol.60, No.2, pp.376-384 (2019)]

笹川 真奈 君 新島 有信 君 (正会員)

青木 良輔 君 (正会員) 渡部 智樹 君 (正会員)

山田 智広 君 (正会員)

○「敵対的生成ネットワークを用いた 3 次元点群形状特徴量の教師なし学習」

[情報処理学会論文誌 Vol.60, No.7, pp.1315-1324 (2019)]

上西 和樹 君 古屋 貴彦 君 (正会員)

大淵竜太郎 君 (正会員)

【Journal of Information Processing Outstanding Paper Award】

○「Chosen Message Attack on Multivariate Signature ELSA at Asiacypt 2017」

[Journal of Information Processing Vol.27, pp.517-524 (2019)]

Yasufumi Hashimoto 君

Yasuhiko Ikematsu 君

Tsuyoshi Takagi 君 (正会員)

【情報処理学会論文誌 コンシューマ・デバイス & システム 優秀論文賞】

○「ノンストップ顔認証システムによる大規模イベントのチケット本人確認の性能改善」

[情報処理学会論文誌 コンシューマ・デバイス & システム

Vol.8, No.1, pp.27-38 (2018)]

奥村 明俊 君 (正会員) 星野 隆道 君

半田 享 君 西山 雄吾 君

田淵 仁浩 君 (正会員)

【IPSJ Transactions on Computer Vision and Applications Outstanding Paper Award】

○「Effective hyperparameter optimization using Nelder-Mead method in deep learning」

[IPSJ Transactions on Computer Vision and Applications, 2017, 9:20]

Yoshihiko Ozaki 君

Masaki Yano 君

Masaki Onishi 君 (正会員)

※上記 () の会員情報は論文掲載時のものです。

2019 年度業績賞の表彰

本会では、産業界における顕著な業績を顕彰するため、業績賞を設けております。

本賞は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業分野への貢献が明確になったものを選定し、その貢献者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は、表彰規程および業績賞候補者選定手続きに基づき、中川副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認(2020 年 3 月 26 日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て、下記の 3 件の業績の貢献者 12 名に決定されました。

受賞者は、本会表彰規程により、6 月 3 日に開催された 2020 年度定時総会* において表彰報告されました。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式が中止となったため、表彰状などの発送をもって表彰といたしました。

○「世界トップクラスの性能を実現したオープンな高次元ベクトル近傍検索の開発」

岩崎雅二郎 君 (正会員) 宮崎 大輔 君

加藤 優介 君 森本 浩介 君

菅原 晃平 君

○「低被ばく化 X 線透視診断装置向け映像処理技術の研究開発と実用化」

萩野 昌宏 君 (正会員) 高野橋健太 君

鈴木 克己 君

○「防災や交通渋滞等の社会課題解決に寄与する「リアルタイム人口統計」の開発実用化」

寺田 雅之 君 (正会員) 赤塚 裕人 君

深澤 佑介 君 (正会員) 石黒 慎 君

2019 年度情報処理技術研究開発賞の表彰

本会では、情報学の主要な分野で、その研究・開発において国際的に顕著な貢献が認められる企業所属の若手研究者を表彰するため「情報処理技術研究開発賞」を設けております。

本年度の受賞者は表彰規程および情報処理技術研究開発賞候補者選定手続きに基づき、岡部副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2020年1月31日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て決定されました。

受賞者は、本会表彰規程により、6月3日に開催された2020年度定時総会*において表彰報告されました。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式が中止となったため、表彰状などの発送をもって表彰といたしました。

- 「カメラ画像を用いた周辺環境認識技術の研究開発」
関 晃仁 君（正会員）

2019 年度マイクロソフト情報学研究賞の表彰

本会では、日本マイクロソフト株式会社の協力により、情報学の主要な分野で、その研究・開発において国際的に顕著な貢献が認められる若手研究者を顕彰するため、マイクロソフト情報学研究賞を設けております。

本年度の受賞者は表彰規程およびマイクロソフト情報学研究賞候補者選定手続きに基づき、岡部副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2020年1月31日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て決定されました。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式が中止となったため表彰状などの発送をもって表彰とし、2020年度定時総会にて表彰報告いたしました。

- 「統計的歌声合成技術の研究開発」
大浦圭一郎 君（正会員）
- 「ユーザの情報受容性を向上させる情報提示タイミングに関する研究」
大越 匡 君（正会員）

2020 年 IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research

本年の受賞者は、両学会より推薦された候補者のうち、論文実績や Global Research の観点で候補者を絞り、賞選定手続きに基づいて ACM 代表者を含む賞選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2020年2月28日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て決定されました。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式が中止となったため表彰状などの発送をもって表彰とし、2020年度定時総会にて表彰報告いたしました。

- 「Mobile Interactive Systems for Intellectual Productivity Support」
矢谷 浩司 君（正会員）

2020 年 IPSJ/IEEE-Computer Society Young Computer Researcher Award

本年の受賞者は、両学会より推薦された候補者より、賞選定手続きに基づいて両学会による賞選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2020年2月28日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て決定されました。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により発表の場が中止となったため、2020年度定時総会にて報告いたしました。

- 「Research on Intelligence-driven Engineering of Dependable Smart Systems」
石川 冬樹 君（正会員）
- 「Outstanding Achievements on Microprocessor Architecture」
塩谷 亮太 君（正会員）
- 「Outstanding Research on Human Activity Recognition for Wearable Computing」
村尾 和哉 君（正会員）

2019 年度優秀教育・教材賞の表彰

本会では、情報処理教育に関して優れた教育者ならびに教材開発者を顕彰するため、優秀教育賞ならびに優秀教材賞を設けております。

本年度の受賞者は、表彰規程および同賞候補者選定手続きに基づき、萩谷昌己情報処理教育委員長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2020年3月26日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、決定いたしました。

受賞者は、本会表彰規程により、6月3日に開催された2020年度定時総会*において表彰報告されました。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式は中止となったため、表彰状などの発送をもって表彰といたしました。

【優秀教材賞】

- 「倫倫姫と学ぼう！情報倫理：多言語情報倫理・セキュリティ教育オンラインコースの開発」
上田 浩 君（正会員）

2019 年度学会活動貢献賞の表彰

本会では、特定分野の運営、または会員サービスの向上への貢献を顕彰するため、学会活動貢献賞を設けております。

本年度の受賞者は、表彰規程および学会活動貢献賞候補者選定手続きに基づき、選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2020年1月31日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、決定されました。

受賞者は、本会表彰規程により、6月3日に開催された2020年度定時総会*において表彰報告されました。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式は中止となった

ため、表彰状などの発送をもって表彰いたしました。

- 「学会誌における編集業務への貢献」
金子 格君（正会員）
- 「論文誌への査読貢献」
寺西 裕一君（正会員） 由井蘭隆也君（正会員）
寺田 努君（正会員）
- 「デジタルプラクティスへの査読貢献」
掛下 哲郎君（正会員）
- 「第81回全国大会開催への貢献」
吉村 賢治君（正会員）
- 「FIT2019 第18回情報科学技術フォーラム開催への貢献」
谷口 秀夫君（正会員）

2019年度感謝状の贈呈について

本会の運営等への貢献に対する感謝の意を表するため、感謝状を贈呈しております。

本年度は、規程に基づき、理事会承認（2020年1月31日付、定款上の理事会決議の省略手続による）を得て、贈呈が決定し、6月3日に開催された2020年度定時総会*において表彰報告されました。

*新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式が中止となったため、表彰状などの発送をもって表彰いたしました。

- 「プログラミングコンテスト SamurAI Coding への貢献」
大塚 信吾君

2019年度ソフトウェアアジアワードの表彰

本会では2004年度から毎年産業界向けのイベントとして「ソフトウェアアジア」を開催しており、同イベントにおいて、日本発の世界に誇るソフトウェアの研究者、開発者、技術者で、情報技術分野において特に産業界への功労がありその業績が顕著であると共、今後の産業界への活躍が期待できる方へ「ソフトウェアアジアワード」を贈呈しております。

本年度の受賞者は、技術応用運営委員会、ITフォーラム推進委員会の各委員および情報処理学会フェロー、各研究会主査から推薦された候補者のうち、表彰規程およびソフトウェアアジアワード選定手続に基づき、選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2020年3月27日）を得て決定いたしました。

受賞者は、本会表彰規程により、2020年度定時総会*において表彰報告されました。

*新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式は中止となったため、表彰状などの発送をもって表彰いたしました。

- 「オープンソース脆弱性スキャナ「Vuls」の開発」
神戸 康多君

2019年度デジタルプラクティス論文賞の表彰

デジタルプラクティスの目的は、ICT実務の現場での実践やそこから生み出される知見を広く社会全体で公開共有し再利用することです。この目的に最もかなう論文を1年に1編選び「デジタルプラクティス論文賞」を贈呈しております。

本年の受賞者は、2019年に発行されたデジタルプラクティス Vol.10, No.1～No.4の全49編（招待、一般投稿、推薦）の中から、表彰規程およびデジタルプラクティス論文賞選定手続に基づき、細野繁編集委員長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2019年12月17日付、定款上の理事会決議の省略手続による）を得て、決定いたしました。

*新型コロナウイルス感染症の影響により表彰式が中止となったため表彰状などの発送をもって表彰とし、2020年度定時総会にて表彰報告いたしました。

- 「深層学習によるコンクリート護岸劣化領域検出システムの開発」
齋藤 彰儀君 上総 虎智君
平木 悠太君 天方 匡純君
吉田 武司君

2019年度フェローのご紹介

2019年度「情報処理学会フェロー」は、関連規程に基づき、フェロー選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2020年2月28日付、定款上の理事会決議の省略手続による）を得て、下記の16君に決定されました。

なお、2019年度フェローには、2020年度定時総会*フェロー認証式（2020年6月3日）において、認定報告されました。

詳細はWebサイト（<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/fellow/fellow.html>）をご覧ください。

*新型コロナウイルス感染症の影響により認証式は中止となったため、認証状などの発送をもって認定いたしました。

- 「非構造・半構造情報処理とデータ・クラウドセキュリティの研究開発への貢献」
浦本 直彦君（正会員）
- 「動画像国際標準化および大規模データ処理技術の実用化に対する貢献」
栄藤 稔君（正会員）
- 「先駆的ICT人材育成および知的活動の思考プロセスの測定と分析に関する研究」
大場みち子君（正会員）
- 「時間データベースに関する先駆的研究」
川越 恭二君（正会員）
- 「高階モデル検査に関する研究およびIFIPに対する貢献」
小林 直樹君（正会員）
- 「CGにおける非写実的表現等の先駆的研究」
斎藤 隆文君（正会員）
- 「データ工学と数理科学を中心とした教育への貢献」
白田由香利君（正会員）
- 「高スケーラブルデータベース統合基盤の研究開発と標準化に対する貢献」
土田 正士君（正会員）

- 「組織の情報セキュリティインシデント対処技術の研究開発に対する貢献」
鳥居 悟 君 (正会員)
- 「国際的な女性技術者支援活動への貢献」
橋本 隆子 君 (正会員)
- 「広域データ通信の品質向上手法の発明ならびに実用化」
長谷川輝之 君 (正会員)
- 「セキュアなデータ活用技術の研究開発」
富士 仁 君 (正会員)
- 「画像処理および情報システム技術の研究開発と学会運営への貢献」
前田 章 君 (正会員)

- 「データ統合と群衆データベースシステム研究開発および学会運営への貢献」
森嶋 厚行 君 (正会員)
- 「人物顔画像分析及びアニメーション合成の研究と実用化に対する貢献」
森島 繁生 君 (正会員)
- 「ヒューマンコンピュータインタラクション研究領域に対する貢献」
暦本 純一 君 (正会員)



● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.61 No.6 (June 2020)

【一般論文】

- 漸化式を用いるクンマー関数 $U(a,b,x)$ の数値計算法と打ち切り誤差
吉田年雄 他
- Proxy オブジェクトを用いた解析妨害 JavaScript コード解析支援システムの実現*
上川先之 他
- プライバシーポリシーの適切な同意取得に向けた表現・表示方法に対する利用者評価の調査
篠田詩織 他
- 匿名加工を伴う 2 パーティ秘匿クロス集計の完全準同型暗号による実現と性能比較*
片山源太郎 他
- 少ない棋譜からの将棋プレイヤー棋力推定手法の提案
馬場 匠 他
- コンテンツのユーザーに与える感情を考慮したコンテンツ推薦手法の検討*
藤田 俊 他
- 音量制御のためのホワイトノイズ手法と音声フィードバック手法†
竹川佳成 他
- 集団コミュニケーションにおける挙手の印象への手の高さと人数の影響—スクリーンと VR ヘッドセットの各提示環境において—
南出 健 他

*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note



● 論文誌トランザクション掲載論文リスト (June 2020)

【論文誌 プログラミング Vol.13 No.3】

- Lift 中間言語における動的長配列の追加
新美和生 他



【論文誌 教育とコンピュータ Vol.6 No.2】

- 我が国の小中学校を対象とした教育の情報化の進展
東原義訓
- 大学教育における学習分析の活用事例
島田敬士
- プログラミング学習支援ツール pgtracer を自学習に活用した授業実践と学習行動の分析
村田美友紀 他
- 自然言語処理と可視化を利用した履修選択支援システムの実用化
美馬秀樹
- 小テストの点数パターンによる学習者のクラスターリングとその推定
古川雅子 他



CONTENTS

Preface

- 662 **Augmented Reality is Information Processing That is Not as Textbooks**
Tom KAWADA (AR3Bros. The First-born Son)

Special Features

Cyber Wars

- 664 **0. Foreword**
Katsue NAGAKURA and Arisa EMA (The Univ. of Tokyo)
- 666 **1. Increasing Sophistication of Attack Strategies as Attack Surface Grown**
Toshio NAWA (Cyber Defense Institute, Inc.)
- 672 **2. Boosting Cybersecurity with Machine Learning Techniques**
Takeshi TAKAHASHI, Keisuke FURUMOTO and Chansu-Han (National Institute of Information and Communications Technology)
- 678 **3. The ICT and National Security : An Issue for Strategic Analysis**
Heigo SATO (Takushoku Univ.)
- 687 **4. On Tallinn Manual : International Law Concerning Cyber Attacks**
Kazuhiro NAKATANI (Graduate Schools for Law and Politics, Univ. of Tokyo)
- 693 **5. Russian Intelligence Organs and ICT**
Yu KOIZUMI (Research Center for Advanced Science and Technology, The Univ. of Tokyo)
- 700 **6. Engineers and Cyber Wars**
Satoshi KURIHARA (Keio Univ.), Fujio TORIUMI (The Univ. of Tokyo), Kazuhiro TAIRA (J. F. Oberlin Univ.), Masahiro SUGAWA (Niigata Univ.), Katsue NAGAKURA and Arisa EMA (The Univ. of Tokyo)

Goodbye, Fatuous Encrypted Zip Attachments

- 706 **0. Foreword - Ceremony Security PPAP : Towards the Renaissance of Information Security in Japan (Goodbye Automated Password Protected ZIP Mail)**
Nat SAKIMURA (NAT. Consulting LLC.)
- 708 **1. What is PPAP? - The Dark History of Its Development -**
Akira OTAISHI (PPAP Research Institute)
- 714 **2. Security Blurriness of PPAP**
Masanori KUSUNOKI (Center for Global Communications, International Univ. of Japan)
- 719 **3. Why Do We E-mail Both Password-protected Zip Files and Their Passwords?**
Tetsutaro UEHARA (Ritsumeikan Univ.)

- 724 **5. Discussion "How to Get Rid of PPAPs from Society?"**
Nat SAKIMURA (NAT. Consulting LLC.), Akira OTAISHI (PPAP Research Institute), Masanori KUSUNOKI (Center for Global Communications, International Univ. of Japan) and Tetsutaro UEHARA (Ritsumeikan Univ.)

"Peta-gogy" for Future

- 735 **Informatics Research Contest for Junior and Senior High School Students during the High Alert due to Novel Coronavirus**
Yasuichi NAKAYAMA (The Univ. of Electro-Communications)
- 736 **As a Person in Charge of Subject "Information"/ Information Studies Participate in Curriculum Management**
Takeharu TASAKI (Tokyo Metropolitan School Management Support Center Central)
- 740 **Primary and Secondary Education of Informatics in Sri Lanka**
Ben Tsutom WADA (Nagano Univ.)

Algorithm Starting from Scratch

- 744 **What to Solve?**
Yoshifumi MANABE (Kogakuin Univ.)

Let's Learn Informatics

- 748 **Trial and Error of ICT Utilization in Elementary School**
Masai NABEYA (Sendagaya Elementary School)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

- 762 **2019 Nomination of the Information Processing Technology Heritages**
Hiroharu ASAHII (Secretary of the Committee of History of Computing)
-
- 753 **Gathering to Share Original Programming Projects for Junior**
- 754 **Biblio Talk**
- 756 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
- 759 **Shopping Boast**
- 760 **Questions for Experts**
- 766 **Conference Report**
- 768 **Conference Report**
- 780 **IT Travelog Manga**

次号 (8月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」プログラミング教育の最前線

ついに始まった小学校プログラミング教育—その現状と課題—/プログラミングもあそびになる。ロボット工学が身近になるロボット「toio」/ Maker Education 作ることを通して学ぶ/プログラミングの大衆化が始まった/地域におけるプログラミング学習コミュニティ CoderDojo の果たす役割/創造はじめのいっぽ、Apple I/TK-80/MSX が生んだ感動をすべてのこどもたちへ!

「小特集」中高生の情報教育に関する支援活動—第 82 回全国大会を中心に—

中高生情報学研究コンテストの発展に期待する/中高生情報学研究コンテストの概要・意義・効果/中高生情報学研究コンテストの審査の様子/中高生情報学研究コンテストの作品紹介/教員から見た中高生情報学研究コンテスト—教科「情報」と「総合的な探究の時間」の連携—/初等中等教員研究発表セッション—情報処理学会第 82 回全国大会—

報告 : 2019 年度論文賞の受賞論文紹介 / 2019 年度業績賞紹介 / 2019 年度マイクロソフト情報学研究賞紹介 / 2019 年度情報処理技術研究開発賞紹介

教育コーナー : べた語義

連載 : IT 紀行 / 買い物自慢 / 5 分で分かる !? 有名論文ナメ読み / 先生、質問です! / ビブリオ・トーク

コラム : 巻頭コラム

会議レポート : DATE 2020 会議報告

会員の広場

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「新たなモビリティ時代のサイバーセキュリティ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■モビリティというと、車の自動運転を思い浮かべたが、陸・海・空それぞれにあることを改めて認識した。(匿名希望)

■できれば、個々のモビリティだけでなく、それらが連携したMaaSや、モビリティをセンサとして組み込んだ社会システムに対する課題も知りたいところでした。編集者が触れていたように、それは次のテーマとして楽しみにしています。(匿名希望)

「2. 自動車分野のCASE革命とサイバーセキュリティ」

■CASE革命のそれぞれの要素に対してどのようなセキュリティの課題があるかを分かりやすく、しかも網羅的に解説していただき、納得感のある良い記事であった。(伊藤雅樹)

「3. 鉄道における列車の運行制御用情報ネットワークとサイバーセキュリティ」

■鉄道で用いられるシステムのどこにどのようなセキュリティリスクが潜んでいて、どう対策を取っているかといった記事を期待したが、そうした具体的な内容が薄かったのが残念。もちろん、書くことでリスクが上昇する危険もあるのだが、そんなリスクを上回るほどの対策がなされていると信じている。(伊藤雅樹)

連載「買い物自慢：GR IIIでスマートフォンとカメラの二刀流生活」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■書き手のこだわりが見えて「買い物自慢」の記事を毎回楽しみにしています。もちろんこのままで記事が続くならその記事を読みたいですが、会員に公募するとか、賛助企業等のイチオシ製品のモニタを仲介して紹介してみるなどの可能性もあるかな?と考えています。ぜひ長く続いてほしいと思っています。(滝内邦弘)

解説「高専プロコン30年の歩み」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■高専プロコンがどうやってつくられたのか、陰でどのような人が努力しているのかがよく分かったので良かったです。(匿名希望/ジュニア会員)

連載「ピリオド・トーク：人工知能を活用した研究開発の効率化と導入・実用化《事例集》」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■書評ではなく、目次の羅列のようだった。(匿名希望)

連載「情報の授業をしよう!：情報Iを意識した授業をしよう!」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■Good practice, Good trialで、多くの教員に参考になる記事だと思う。(匿名希望)

連載「先生、質問です!」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「先生、質問です!」の「情報は地球を何秒で周るか」という質問に対して、2人の回答者の解釈がまったく異なっているのが興味深かった。(匿名希望)

オンライン版で読みたい記事、期待するコンテンツについて以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。

■専門家の先生だけではなく、幅広い会員から意見を出し合うような場を作って、それをピックアップしていただくような会誌になると、オンラインになる意味があるのではないかと思います。(匿名希望)

■内容が専門的なので、最初になぜこの内容を選定したのか意図と図解で明示してもらえるとありがたいです。(匿名希望)

■《連載：5分で分かる!? 有名論文ナメ読み》Mark Weiser: Program Slicing (石尾 隆)のように、専門家の方は知っているが、初心者にはあまり知られていない技術の紹介の記事があると嬉しいです。(武藤熙麟/ジュニア会員)

■それぞれ一見関連がないような記事が、実は関係あるかもしれないといったAI推論的な情報が提供されると想像力(創造力)発揮の一助になるかもしれません。(匿名希望)

■新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本会関係で多数の方が対策、対応、解決などにかかわっているかと思えます。その知見を会誌よりも素早くオンラインで公開いただけたら、他分野の方も参照できて役に立つのではないかと思います。(匿名希望)

■キーワード検索、ネットワーク検索、キーワードのネットワーク表示などデータの可視化年表。(匿名希望)

■オンライン版になると、よりタイムリーな企画・編集が可能になるでしょうか。現在、オンライン授業の必要性が突然生じていますが、オンライン用のカメラやマイクなどの話から、オンラインシステムについて、また、中高生、大学生向けの授業

の展開案など、次号ですぐに読むことができるようになっているとよいだろうと切実に思いました。(柏野和佳子)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなど意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■評価しながらすべての記事を読むのは初めての経験でした。モニタでなければ恐らく読まなかったと思われる記事の中にも興味深い記事が多数あること、学会が情報処理の普及のため会員以外の人・組織に対しても幅広く活動していることなどが分かり大きな収穫でした。(匿名希望)

■世の中、コロナウイルス(とオリパラ延期)で大混乱だが、テレワークが一気に加速した。テレワークにはITが不可欠であり、どのような技術・サービスが支えているのか、特集しても面白いだろう。(伊藤雅樹)

■今世界的に問題となっているコロナウイルスと関連する医療とICTとのかかわりについてです。たとえば、病気内容のみならず、発病した人の足取りや感染経路を分析するための手法等の議論が聞けると嬉しく思います。(匿名希望)

■香川県のゲーム条例について、本会の会員の人の考えを聞きたいです。(匿名希望/ジュニア会員)

■VRの未来予測。(匿名希望)

■リモートワークの課題について。(匿名希望/ジュニア会員)

■立花孝志(ネットでの政策投票システムについて)
(國武悠人/ジュニア会員)

■小中高の教育者のためのWGを作り、教育専門の議論をすることが大切です。(匿名希望)

■論文誌で多く読まれている論文のランキングや要旨をまとめたものがたまにあると、研究者ではない読者に論文誌への興味が持てると思う。(角田洋太郎/ジュニア会員)

■量子ソフトウェア研究会が開設されたこともあり、量子コンピューティング関連の特集があってもよいのではないか。過去にも特集はあったが、「基本原理の分かりやすい解説」と「専門的で高度な内容」の間を埋めるものが足りないと感じている。(匿名希望)

■セミナーやソフトウェアジャパンなどのイベントで取り上げられているテーマを紹介していただきたいです。(匿名希望)

■世界中の人々の行動が大きく変わっている今、ICTの使い方も大きく変わってきているはずなので、たとえばネットワークの帯域使用量の変化など、分野別にまとめて、現状と取り組み状況や今後の対応などについて解説していただけるとありがたいです。(匿名希望)

■最近おしゃれな誌面になっていると感じていましたが、今号は特に特集や解説のデザインが良いと思いました。(柏野和佳子)

■著者の立場では既知だとしても、非専門者から見たら既知でない用語や概念が多い業界なので、著者各位には丁寧な解説を求めたい。(匿名希望)

【本欄担当 大岸智彦・荒 宏視/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もより良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、
・記事に対する感想、意見 ・記事テーマの提案 ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> > で
これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL : <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html> >

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPSJ カレンダー

※新型コロナウイルス感染症拡大を受け、開催方法の変更、開催中止などの可能性がありますので、最新情報を Web でご確認くださいませよう
 お願いいたします。

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/21-M.html	6月18日(木)		
	論文誌トランザクションデジタルプラクティス 「変革の先にあるコンタクトセンター」特集論文募集 https://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/tdp0102s.html	7月17日(金)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/21-H.html	8月3日(月)		
	論文誌「情報システム論文」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/21-L.html	8月7日(金)		
6月24日(水)～ 6月26日(金)	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2020) シンポジウム http://dicomo.org/	3月20日(金)	5月29日(金)	★オンライン開催
6月25日(木)	第178回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学 研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg178.html	5月28日(木)	当日のみ	慶應義塾大学
6月25日(木)～ 6月26日(金)	第54回組込みシステム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb54.html	5月21日(木)	当日可 要マイページより申込	★オンライン開催
6月27日(土)	第44回ゲーム情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi44.html	5月18日(月)	当日可 要マイページより申込	★オンライン開催
6月29日(月)	第128回数理解モデル化と問題解決・ 第62回バイオ情報学合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps128bio62.html	5月14日(木)	当日可 要マイページより申込	★オンライン開催
7月2日(木)	第205回ソフトウェア工学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se205.html	5月11日(月)	当日可 要マイページより申込	★オンライン開催
7月3日(金)～ 7月4日(土)	第244回自然言語処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl244.html	5月28日(木)	当日可 要マイページより申込	★オンライン開催
7月9日(木)～ 7月10日(金)	第117回ドキュメントコミュニケーション研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/DC117.html	5月19日(火)	当日可 要マイページより申込	★オンライン開催
7月10日(金)	第50回インターネットと運用技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot50.html	5月22日(金)	当日のみ	アクロス福岡
7月20日(月)～ 7月21日(火)	第90回コンピュータセキュリティ・第38回セキュリティ心理学 とトラスト合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec90spt38.html	5月14日(木)	当日のみ	札幌コンベンションセンター
7月27日(月)	第129回数理解モデル化と問題解決研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps129.html		当日のみ	Luxor "MGM Resorts" International(ラスベガス)
7月29日(水)	The 4th cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrastructures, and Programming (xSIG2020) http://xsig.hpcc.jp/2020/	3月6日(金)		フェニックス・プラザ (福井市民福祉会館)
7月29日(水)～ 7月31日(金)	第175回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 (SWoPP2020) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc175.html	5月26日(火)	当日のみ	フェニックス・プラザ (福井市民福祉会館)
7月29日(水)～ 7月31日(金)	第150回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 (SWoPP2020) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os150.html	5月26日(火)	当日のみ	フェニックス・プラザ (福井市民福祉会館)
7月29日(水)～ 7月31日(金)	第233回システム・アーキテクチャ研究発表会 (SWoPP2020) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc233.html	5月26日(火)	当日のみ	フェニックス・プラザ (福井市民福祉会館)
7月29日(水)～ 7月31日(金)	第130回プログラミング研究発表会 (SWoPP2020) https://sigpro.ipsj.or.jp/pro2020-2/	5月26日(火)	当日のみ	フェニックス・プラザ (福井市民福祉会館)
7月31日(金)	第139回情報基礎とアクセス技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/IFAT139.html	6月25日(木)	当日可 要マイページより申込	★オンライン開催
8月27日(木)	2020年度電気関係学会東北支部連合大会 https://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/index.html	6月25日(木)		★書面発表
9月1日(火)～ 9月2日(水)	第110回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm110.html		当日のみ	北海道大学 札幌キャンパス
9月1日(火)～ 9月3日(木)	FIT2020 第19回情報科学技術フォーラム https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2020/			★オンライン開催

9月2日(水)～ 9月4日(金)	The 15th International Workshop on Security (IWSEC 2020) https://www.iwsec.org/2020/index.html	3月23日(月)		Happiring Hall and Fukui International Activities Plaza, Fukui, Japan
9月3日(木)～ 9月4日(金)	令和2年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 https://www.ipsj-tokai.jp/rengo2020/	7月8日(水)		★オンライン開催
9月7日(月)～ 9月9日(水)	DAシンポジウム2020—システムとLSIの設計技術— http://www.sig-sldm.org/das/			鳥羽シーサイドホテル
9月10日(木)～ 9月12日(土)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2020 (SES2020) https://ses.sigse.jp/2020/			株式会社日立製作所 横浜研究所
9月12日(土)	2020年度電気・情報関係学会北陸支部連合大会 http://2020.jhes.jp/			福井大学 文京キャンパス
9月20日(日)	2020年度関西支部 支部大会 https://kansai.ipsj.or.jp/sibutaiikai_2020/	6月12日(金)		大阪大学 中之島センター
9月26日(土)～ 9月27日(日)	2020年度(第73回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月8日(水)	講演・参加など 申込受付は6月8日より	★オンライン開催
10月13日(火)	連続セミナー2020「IoTやAIを支えるデータ流通基盤」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2020/		当日可 要マイページより申込(準備中)	★オンライン開催
10月26日(月)	連続セミナー2020「人工知能技術と人間の思考・感性」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2020/		当日可 要マイページより申込(準備中)	★オンライン開催
11月11日(水)	連続セミナー2020「AI技術の産業応用:現在と未来」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2020/		当日可 要マイページより申込(準備中)	★オンライン開催
12月14日(月)	連続セミナー2020「量子コンピュータとソフトウェア」 https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2020/		当日可 要マイページより申込(準備中)	★オンライン開催

2021年

1月18日(月)～ 1月21日(木)	26th Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC 2021) http://www.aspdac.com/aspdac2021/			日本科学未来館
3月10日(水)～ 3月12日(金)	インタラクシオン2021 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-hi2021.html			学術総合センター 一橋講堂
3月18日(木)～ 3月20日(土)	情報処理学会 第83回全国大会 https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/83/			大阪大学 豊中キャンパス

Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月15日 人材募集情報 (Vol.61 No.6)
- 5月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.61 No.6)
- 5月15日 論文誌「組込みシステム工学」特集 論文募集
- 5月12日 論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集 論文募集
- 5月7日 FIT2020 講演申込の受付を5月13日15時まで延長しました
- 5月6日 FIT2020 オンライン開催について
- 4月30日 「情報科学の達人」育成官民協働プログラムをスタート
- 4月28日 2020年度定時総会の開催について
- 4月28日 2020年度「C&C賞」候補者推薦について
- 4月28日 インターンシップ情報(広告)のお申し込み受付中
- 4月22日 情報処理学会創立記念日に寄せて
- 4月17日 論文誌「情報システム論文」特集 論文募集

人材募集

(有料会告)

申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000円（税込 22,000円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 33,000円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 55,000円）

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,400円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内（土日祝日除く）に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■学校法人奈良学園

募集人員 学内システム技術担当者（事務職員）1名

応募資格 情報通信技術（コンピュータおよびネットワーク）について専門的知識を有し、新しい技術に積極的に取り組む意欲のある方

採用年月日 可能な限り早い時期（採用内定後調整）

提出書類 履歴書、職務経歴書（既卒者）、最終学校卒業証書（写）または卒業見込証明書、最終学校成績証明書

業務に関連する資格を有している場合そのコピー

応募締切 随時

送付先 〒636-8503 奈良県生駒郡三郷町立野北 3-12-1

Tel(0745)73-6561

照会先 事務局総務部人事課 事務職員採用係

その他 【雇用期間】雇用期間の定めなし

【勤務地】法人本部事務局 奈良県生駒郡三郷町立野北 3-12-1

【詳細】<http://www.naragakuen.jp/jobs/>

■国立情報学研究所

募集人員 准教授、助教 あわせて若干名（任期は5年間。教授採用を考慮する場合もある。なお、採用後、優れた業績を出された場合は、昇任または任期のない職への任用を行う場合があります）

研究開発分野 ①情報学プリンシプル研究分野、②アーキテクチャ科学研究分野、③コンテンツ科学研究分野、④情報社会相関研究分野

応募資格 原則として博士の学位取得または取得見込みの方（人文・社会科学系の研究者にあつては、これに準ずる方を含む）

着任時期 原則として2021年4月1日

提出書類 (1)履歴書、(2)研究業績（論文、著書リストおよび主要業績3編について、併せて添付すること）、(3)学会における活動状況、(4)職域における活動状況、(5)社会における活動状況、(6)推薦書/照会先、(7)就任後の抱負：任意の様式による（2,000字程度）。このうち(1)から(5)は後述のWebページから所定様式をダウンロードし、その様式に従って作成してください。なお(6)と(7)は自由形式とします

応募締切 2020年6月26日（必着）

送付先 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

「情報・システム研究機構国立情報学研究所長」宛
「応募書類在中（研究教育職員）」と朱書き、書留郵便等、配達証明相当がある方法にて送付のこと

照会先 国立情報学研究所 総務部総務課人事チーム

E-mail: koubo2020@nii.ac.jp

その他 書類審査および面接による。面接は書類審査合格者を対象とし、これにかかわる旅費、宿泊費等は自己負担となります。応募にあつては、必ず国立情報学研究所 研究教育職員 公募要領のWebページ（<http://www.nii.ac.jp/about/recruit/>）に従って、提出書類を作成・送付してください

■豊橋技術科学大学情報・知能工学系

募集人員 助教 1名（任期：5年（再任は審査により1回限り3年、最長8年まで））

専門分野 音声言語処理（音響処理・言語処理を含む音声言語情報全般）、またはマルチモーダルインタラクション技術（音声を中心とした多モダリティを用いるインタフェースなど）、または自然言語処理（機械学習に基づく言語処理全般）

担当科目 情報・知能工学にかかわる演習や実験などの科目

着任時期 2020年11月1日以降なるべく早く

応募締切 2020年6月30日（必着）

照会先 情報・知能工学系 教授 北岡教英

E-mail: kitaoka@tut.jp

その他 提出書類・提出先など詳細：<https://www.tut.ac.jp/about/docs/koubor2.4.23.4j.pdf>

■豊橋技術科学大学メディア・ロボット情報学分野

募集人員 助教 1名（任期：5年（再任は審査により1回限り2028年3月31日まで））

専門分野 CGや画像などの視覚的なメディアコンテンツに関連する研究分野

応募資格 博士の学位を有し（または、着任までに取得見込みであり）、専門分野に業績があり大学院学生の研究指導補助ができ、

情報系の実験科目の担当が可能な方

着任時期 2020年11月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類 1) 履歴書(学歴, 職歴, 受賞等, メールアドレス明記), 2) 研究業績リスト(学術論文, 国際会議論文(査読付き), 著書, 解説論文, 特許などに分けて記載), 3) 主要論文別刷(3編以内), 4) 学会・社会における活動状況, 5) 外部資金の獲得実績, 6) これまでの研究活動の概要(A4で2枚程度), 7) 着任後の教育研究の抱負(A4で2枚程度), 8) 所見を伺える方1名以上の連絡先

応募締切 2020年6月30日(必着)

送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学情報・知能工学系 北崎充晃

封筒の表に「教員応募(情報・知能工学系:メディア・ロボット情報学分野助教)」と朱書き, 簡易書留で郵送してください

*提出書類は原則として返却いたしません

照会先 情報・知能工学系 栗山 繁

E-mail: sk@tut.jp Tel(0532)44-6737

その他 【選考方法】第1次選考(提出書類による選考), 第2次選考(プレゼンテーションを含む面接)

詳細は, 当大学法人のWebページ(<https://www.tut.ac.jp/about/docs/koubor2.4.23.1j.pdf>)をご覧ください

■富山大学学術研究部工学系

募集人員 助教 2名(1名は女性限定)【任期】5カ年, 再任可
所属 学術研究部工学系(工学部工学科電気電子工学コース担当)

専門分野 電気電子工学分野

応募資格 着任時までに, 博士またはPh.D.の学位を有し, 大学院修士課程および博士課程における教育・実験指導が担当できること

着任時期 2020年11月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切 2020年7月31日(必着)

提出書類/送付先 詳細はURLを参照

照会先 工学部工学科電気電子工学コース コース長 中 茂樹
E-mail: nak@eng.u-toyama.ac.jp Tel(076)445-6731

URL: <https://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

■大阪電気通信大学総合情報学部情報学科

募集人員 准教授または講師 1名

専門分野 メディア情報学(人工知能処理, 拡張現実感, モバイルアプリケーション等)

着任時期 2021年4月1日までのできるだけ早い時期

応募締切 2020年7月31日(必着)

照会先 総合情報学部情報学科 主任 南角茂樹

E-mail: nankaku@osakac.ac.jp (件名を「情報学科公募」)

その他 詳細「大阪電気通信大学 専任教員(総合情報学部 情報学科)の公募について」

<https://www.osakac.ac.jp/etc/recruit/96>



ご意見をお寄せください！

【7月10日頃までにお出しください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他..... 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8-1) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8-1- []
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 8-2- []
- (9) どちらの媒体で記事をお読みにになりましたか？
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館） (c) Kindle (d) fujisan (e) その他..... 9- []
- (10) 今月号（2020年7月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：教科書通りじゃない情報処理、それが拡張現実..... 10-1- []
- 特集：サイバー・ウォーズ
0. 編集にあたって 10-2- []
1. 攻撃対象領域の増大に伴い高度化する攻撃戦略 10-3- []
2. 機械学習を用いたサイバーセキュリティ技術の発展 10-4- []
3. 情報通信技術（ICT）と安全保障..... 10-5- []
4. タリン・マニュアルについて 10-6- []
5. ロシアのインテリジェンス機関と ICT 10-7- []
6. 座談会：技術者とサイバー・ウォーズ 10-8- []
- 小特集：さようなら、意味のない暗号化 ZIP 添付メール
0. 編集にあたって 10-9- []
1. PPAP とはなにか 10-10- []
2. PPAP のセキュリティ意義 10-11- []
3. 我々はなぜPPAP するようになってしまったのか 10-12- []
4. 座談会「社会からPPAP をなくすには？」..... 10-13- []
- ぺた語義：新型コロナウイルスと中高生情報学研究コンテスト..... 10-14- []
- ぺた語義：教科「情報」・情報教育の担当者としてカリキュラム・マネジメントに参画する 10-15- []
- ぺた語義：スリランカの初等中等情報教育..... 10-16- []
- ゼロからはじめるアルゴリズム：最初に考えること：何を行うのか..... 10-17- []
- 情報の授業をしよう！：小学校における ICT 活用の試行錯誤 10-18- []
- 連載：集まれ！ジュニア会員！！ 10-19- []
- ピブリオ・トーク：センスメイキング..... 10-20- []
- 5分で分かる!? 有名論文ナナメ読み：Lee Organick et al.: Random Access in Large-Scale DNA Data Storage 10-21- []
- 買い物自慢：子供とプログラミングで遊べるトイドローンを買ってみた..... 10-22- []
- 連載：先生、質問です！ 10-23- []
- 古機巡礼/二進伝心：2019年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館 10-24- []
- 会議レポート：SANER 2020 会議報告 10-25- []
- 会議レポート：バーチャル学会開催後記..... 10-26- []
- IT 紀行：ニコニコ学会βの逆襲！！ これからのイノベーションの在り方を考えてみた..... 10-27- []

〔11〕 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
 〔11-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
 〔11-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- []
 a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に下記にご記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 サイバー・ウォーズ：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 〔13-2〕 さようなら、意味のない暗号化ZIP添付メール：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌のオンライン版ができたらどのような記事を読みたいか、どのようなコンテンツが期待できるか、などで意見がございましたら教えてください。

〔16〕 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会誌配布、会員特典、会費等口座振替、海外からの送金、賛助会員、電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、出版、コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可、著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読、DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP委員会、情報処理教育委員会、アクレディテーション対応
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、プログラミングコンテスト、プログラミング・シンポジウム、協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー、短期セミナー、IT フォーラム、ソフトウエアジャパン、その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会、支部、選挙、総務系選奨、関連団体、アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、セキュリティ、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 https://www.itscj.ipsj.or.jp/

「特集が出るのが夏だからサマーウォーズならぬ、サイバー・ウォーズにしよう」このようにして特集の名称は決まった。細田守氏が監督の『サマーウォーズ』(2009年)は、サイバー空間上での謎の人工知能との戦争を描いた映画である。10年以上たった現在、サイバー空間と現実空間は想像以上に関係し合い、深刻化している。国という単位での安全保障においても、陸海空という従来の三領域に加え、サイバー空間は宇宙と並んで重要領域と見なされている。さらにはフェイクニュースなどの「攻撃」も、民主主義の脅威として兵器扱いされるなど、サイバー空間における課題はこの10年で解決するどころか、拡張の一端をたどっている。

しかし、課題に対して技術的に対策をとること、法律で対応すること、国際的な連携で囲い込むこと、技術者の倫理観の醸

成を行うことなど、とれる対策は多様にある。本特集では、各分野の専門家がそれぞれの「戦場」で見聞きしてきたことを寄稿いただいた。この戦争は情報系の研究者だけではなく、さまざまな人々との協力と連携があって対応できるものだと改めて特集を通じて考えさせられた。

2020年5月現在、私たちはCOVID-19という敵との終わりの見えない戦いにさらされている。医療や教育が遠隔になり、テレワークも導入されるなど、私たちの生活や仕事空間は、かつてないスピードでサイバー空間上へと移行している。サイバーウォーズは、他人事ではなく、私たち一人ひとりが意識し取り組むべきものだ、ということ、今こそ心にとどめておく必要があるだろう。

(江間有沙/本特集エディタ)

まず最初にお詫びをしたい。このような特集では、本来は賛成派と反対派の両方の意見を載せるべきである。そうであって、はじめて適切な議論となるはずである。だが、今回は、PPAP賛成派または推進派の原稿を載せることができなかった。書いていただけの推進派は見つけられなかった。

もし次回があるのであれば、そのような推進派の方を交えて、より本質を突いた議論を行いたい。そうすることで、はじめて問題解決の糸口が見えてくると考えられる。

この意味のない暗号化ZIP添付メールの問題は、「部屋の中の象」である。「部屋の中の象」とは、誰もが目にして問題であると認識しているのに、どうにも対応しようがなく、その問題がそのまま居座り続けているというものである。

私たちはセキュリティやUI・UXについて、さんざん議論し、

研究対象としてきている。「情報処理」でも何度も扱ってきている。この分野への技術投資はすさまじい金額のはずだ。

だが、そのような私たちの努力をあざ笑うかのように、PPAPは今日も私たちの目の前に存在している。

私は研究とは、「目の前にある問題」を解決できなければならないと考えている。この目の前にある巨大な問題を解決できずに、セキュリティやUXを論じるのは、そもそもおかしいのではないだろうか。

今回は、理想的な先生方に原稿を執筆していただき、議論していただいた。今回の小特集が、この巨大な問題を解決する糸口となることを期待している。

(江渡浩一郎/本小特集エディタ)

複写される方へ

一般社団法人情報処理学会では複写複製および転載複製に係る著作権を学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している複製利用許諾システムもしくは転載許諾システムを通じて申請ください。

尚、本会会員(賛助会員含む)および著者が転載利用の申請をされる場合には、学術目的利用に限り、無償で転載利用いただくことが可能です。ただし、利用の際には予め申請いただくようお願い致します。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

Information Processing Society of Japan authorized Japan Academic Association for Copyright Clearance (JACC) to license our reproduction rights and reuse rights of copyrighted works. If you wish to obtain permissions of these rights in the countries or regions outside Japan, please refer to the homepage of JACC (<http://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations.

You may reuse a content for non-commercial use for free, however please contact us directly to obtain the permission for the reuse content in advance.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	1色
表2	330,000円 (税抜)	—
表3	275,000円 (税抜)	—
表4	385,000円 (税抜)	—
表2対向	300,000円 (税抜)	—
表3対向	265,000円 (税抜)	155,000円 (税抜)
前付1頁	250,000円 (税抜)	135,000円 (税抜)
前付1/2頁	—	80,000円 (税抜)
前付最終	—	148,000円 (税抜)
目次前	—	148,000円 (税抜)
差込 (A4変形判 70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税抜)	
差込 (A4変形判 70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税抜)	
同封 (A4変形判 1枚)	350,000円 (税抜)	

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4変形判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地250mm×左右180mm
 1/2頁 天地120mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地280mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 61巻7号 掲載広告 (五十音順)

- インタフェース 表2 オージス総研 表2対向
- すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 -) _____

TEL () - FAX () -

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ピー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルート

Google

グーグル合同会社

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

TTC
Telecommunication Technology Committee

(一社) 情報通信技術委員会

NTT DATA

(株) NTT データ

GREE

GREE (株)

Rakuten Institute of Technology

楽天技術研究所

IA japan

(一財) インターネット協会

JISA

情報サービス産業協会

TREND MICRO

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

NTTテクノクロス

NTT テクノクロス (株)

uejima

(株) うえじま企画

OKI

沖電気工業 (株)

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン (株)

CMS CORE MICRO SYSTEMS INC.

コアマイクロシステムズ (株)

SANBI

三美印刷 (株)

SEPTENI

(株) セプテーニ

SONY

ソニー (株)

team Lab

チームラボ (株)

TECHNOPRO Design

(株) テクノプロ
テクノプロ・デザイン社

Panasonic

パナソニック (株)

MIZUHO みずほ情報総研

みずほ情報総研 (株)

●●● 賛助会員 (2口)

KDDI
KDDI R&D LABS

(株) KDDI 研究所

NEC
NECソリューションイノベータ

NEC ソリューション
イノベータ (株)

NTTAT

NTT アドバンステクノロジー (株) 鉄道情報システム (株)

JR
JRシステム

(株) ナレッジクリエーション
テクノロジー

KCT

JADAC

(一財) 日本データ
通信協会

JSA
日本規格協会
SINCE 1945

(一財) 日本規格協会

放送協会

日本放送協会
放送技術研究所

HITACHI
Inspire the Next
日立システムズ

(株) 日立システムズ

<p>【A～Z】</p> <p>Arithmer (株) (株) ATJC (株) ATR-Trek bokk (株) (株) CIJ (株) CIJネクスト (株) CyberOwl 合同会社 DMM.com freee (株) GMOベバポ(株) (株) GV (株) HBA JapanTaxi (株) JRC エンジニアリング(株) (株) JR東日本情報システム (株) JTB川崎支店 (株) K & S (株) KDDI総合研究所 MHIエアロスペースシステムズ(株) NECソリューションイノベータ(株) NEC ネットイノベーション(株) NEC フィールドディング(株) NTT アドバンステクノロジー(株) NTTコムウェア(株) (株) NTTデータ (株) NTTデータ・アイ (株) NTTデータ関西 (株) NTTデータ九州 (株) NTTデータ数理システム (株) NTTデータ東北 NTT テクノクロス(株) (株) NTTドコモ (株) OKIソフトウェア (株) PFU (株) PLAY (株) POL (株) QUICK SCSK (株) (株) Spelldata TDCソフト(株) TIS (株) (株) UNCOVER TRUTH YKK (株)</p> <p>【あ行】</p> <p>アイアンドエルソフトウェア(株) (株) アイヴィス アイシン・エイ・ダブリュ(株) アイシン精機(株) アイシン・ソフトウェア(株) (株) アイズファクトリー (株) アイ・ピー・エス アイホン(株) (株) アイレップ アシアル(株) (株) アットウェア</p>	<p>(株) アドバンス・メディア (株) アドバンス トラフィック システムズ アビームシステムズ(株) (株) アピリッツ (株) アルファシステムズ (株) アルフィー (株) いい生活 池上通信機(株) 伊藤忠テクノソリューションズ(株) インクリメント・ピー (株) (一財) インターネット協会 (株) インテック インフォサイエンス(株) (株) ヴァル研究所 ヴィスコ・テクノロジーズ(株) (株) うえじま企画 (株) 駅探 (株) エクサ エヌ・ディー・アール(株) (株) エム・オー・シー (株) エルザジャパン オークマ(株) (株) 大塚商会 (株) オーム社 沖電気工業(株) オムロン(株)</p> <p>【か行】</p> <p>国立研究開発法人 科学技術振興機構 (公財)画像情報教育振興協会 (学)片柳学園日本工学院八王子専門学校 (学)河合塾 (一財)機械振興協会 キヤノンITソリューションズ(株) キヤノンマーケティングジャパン(株) キヤノンメディカルシステムズ(株) 共立出版(株) (株)近代科学社 グーグル合同会社 (株)クヌギ グリー (株) (株)グリットウェブ (株)ぐるなび (株)けいけい (株)コア 中四国カンパニー コアマイクロシステムズ(株) (株)構造計画研究所 国立国会図書館 (株)小松製作所</p> <p>【さ行】</p> <p>サイオス(株) (株)サイバーエージェント (一財)材料科学技術振興財団</p>	<p>サクサ(株) サクシード(株) 三協印刷(株) 三美印刷(株) 三友工業(株) (株)シーエーシー システム・オートメーション(株) (株)ジャステック (株)ジャストイト (株)ジャパンテクニカルソフトウェア (一社)情報サービス産業協会 (独)情報処理推進機構 (一社)情報通信技術委員会 新世代M2Mコンソーシアム (株)数理計画 (株)スカイディスク スズキ(株) 住友化学(株) 住友電気工業(株) (学)聖学院 (株)セガ セコム(株) (株)セブテーニ (株)ソケット ソニー (株) (株)ソフトウェアコントロール (一財)ソフトウェア情報センター 特許・技術情報センター (株)ソリトンシステムズ</p> <p>【た行】</p> <p>(株)タンタカ チームラボ(株) (株)中電シーティーアイ (一社)中部産業連盟 中部電力(株) 通研電気工業(株) (株)ディー・エヌ・エー (株)ディスコ (株)データグリップ テクノスデータサイエンス・エンジニアリング(株) (株)テクノプロ テクノプロ・デザイン社 デジタルプロセス(株) 鉄道情報システム(株) (公財)鉄道総合技術研究所 (公財)電気通信普及財団 (一社)電子情報技術産業協会 (株)電盛社 (株)デンソー (株)デンソー ITソリューションズ (株)デンソーアイティラボラトリ (株)デンソークリエイト (一財)電力中央研究所 東海ソフト(株) 東海旅客鉄道(株) (株)東芝</p>	<p>東芝インフォメーションシステムズ(株) 東芝システムテクノロジー (株) 東芝情報システム(株) 東芝デジタルソリューションズ(株) (株)働楽ホールディングス (株)東和システム トーヨー企画(株) 特許庁 (株)トヨタシステムズ トヨタ自動車(株) (株)豊田中央研究所 トレンドマイクロ(株) (株)ドワンゴ</p> <p>【な行】</p> <p>(株)ナレッジクリエーションテクノロジー (株)ニコンシステム 西日本電信電話(株) 日鉄ソリューションズ(株) 日鉄日立システムエンジニアリング(株) 日本アルゴリズム(株) (一財)日本データ通信協会 日本電気(株) 日本電信電話(株) 日本アイ・ピー・エム(株) (公社)日本化学会 (一財)日本規格協会 日本銀行 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 日本システム開発(株) (一財)日本情報経済社会推進協会 (一社)日本情報システム・ユーザー協会 日本電子計算(株) (一財)日本品質保証機構 日本放送協会 放送技術研究所 日本マイクロソフト(株) 日本無線(株) 日本ユニシス(株) (株)野村総合研究所</p> <p>【は行】</p> <p>パーソルキャリア(株) (株)ハイエレコン (有)バクサリー パナソニック(株) パナソニック(株) ライフソリューションズ社 (株)半導体エネルギー研究所 (株)ビービット (株)ビズヒッツ (株)日立インフォメーションエンジニアリング</p>
---	---	--	--

(株)日立国際電気
 (株)日立産業制御ソリューションズ
 (株)日立システムズ
 (株)日立社会情報サービス
 (株)日立製作所
 (株)日立製作所 中国支社
 (株)日立ソリューションズ
 (株)日立ソリューションズ・クリエイト
 (株)日立ソリューションズ西日本
 (株)日立ソリューションズ東日本
 (株)ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング
 (株)ファーストフェアリーデバイス(株)
 (株)フォーカスシステムズ
 (株)フォーラムエイト
 富士通(株)
 (株)富士通アドバンスドエンジニアリング
 (株)富士通エフサス
 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
 富士フィルム(株)
 フューチャー(株)
 古野電気(株)
 (株)ブレアパッチ

(株)ベネッセコーポレーション
 (株)堀場製作所
 【ま行】
 (株)牧野フライス製作所
 マツダ(株)
 みずほ情報総研(株)
 三井情報(株)
 (株)ミックナイン
 (株)ミットヨ
 (株)三菱UFJ銀行
 (株)三菱UFJトラスト投資工学研究所
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
 三菱スペース・ソフトウェア(株)
 三菱電機(株)
 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
 三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
 三菱電機コントロールソフトウェア(株)
 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)
 三菱プレジジョン(株)
 武蔵野美術大学

(株)メイテツコム
 モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)

【や行】

(株)安川電機
 ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所
 ヤマハ(株)

【ら行】

楽天(株)
 リードエグジビジョンジャパン(株)
 (株)リクルート
 (株)リコー
 (株)リックテレコム
 (株)両備システムズ
 (株)リンク
 <入会予定>
 アミューズメントメディア総合学院
 (株)ディンプス

注) 一般社団法人・一般財団法人・公益社団法人・公益財団法人はそれぞれ(一社)・(一財)・(公社)・(公財)と省略した。

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率(正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (https://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/os_relation.html) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、マイページの「登録情報変更」で「会員相互割引」の協定学会名から1つ選択し、その会員番号を入力します。初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。自動継続のため次回からは会員証のコピーは不要です。

※これから入会を希望する方も入会申込[本申請]の画面から同様に申請できます。

- ・マイページはこちら⇒ <https://www.ipsj.or.jp/mypage.html>
- ・入会申請はこちら⇒ https://www.ipsj.or.jp/nyukai_kojin.html

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375